羊な僕～周りは肉食動物!?

リタイア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
羊な僕～周りは肉食動物！？

【Ｎコード】
Ｎ８７２２Ｃ

【作者名】
リタイア

【あらすじ】
人間が動物の力を使えるようになった世界で草食動物タイプの僕（主人公）が肉食動物タイプの女の子や男達から逃げまわるサバイバルコメディです！初めてなんでつまらないですがどうか見て行って下さい！

第一話　視線の意味（前書き）

どうも、初めまして！今回の第一話は世界観の説明みたいなものなのであまり面白く無いです。
ちなみに初投稿なので字の間違いなどは、多目に見て下さい。

第一話　視線の意味

「むか～し、昔。この地球に人は住んでいませんでした。」

ふぁ～あとあくびをしながら僕、山野羊（やまのひつじ）は先生の話を聞いていた。

「人の代わりに動物が住んでおり、そこから猿が進化し人になったと言われています。

そこから文明が生まれ、５０年前、生まれてから死ぬまでずっと使わない細胞がある事が化学は発見しました。

それを調査したところ、人以外の他の生物の細胞と酷似している事がわかったのです。」

うん、知ってる。というかこの町に住む人なら誰でも知っています。

「この細胞を調査し、さまざまな実験の結果人は動物の力を手に入れました。」

こう、なんか長い話を聞くと眠くなるんだけど・・・・・眠れない・・・・

「そして動物の力を得た人類を獣人と呼び、今までの人間と共に過ごすとさまざまな問題が発生するため、隔離することになり、そして出来たのがここ、２００万人以上の獣人が住む獣人保護環境都市、別名ビーストタウンなのです。」

眠れない理由はわかっている。クラスメイト達の視線である。

「しかし人と獣人で住み分けを行ったと言うのに、獣人と獣人で住み分けをしなければならなくなったのです。」

クラスのみんなが僕を見る視線はこう言っていた。

「そう、草食動物の力を得た獣人と肉食動物の力を得た獣人とにです。草食動物の力を得た獣人は本能的に肉食動物の力を得た獣人を恐れ、共に生きる事を拒んだからです。そしてお互い不干渉で住んでいきました。」

・・・山野羊って・・

「しかし、そんな状況を打開するため我が校は一つの試みを行う事にしました。肉食動物専門の学校であるこの高校に草食動物の転校生を引き入れました。では、なぜ先生がこんな長く話をしたかと言うとその転校生が先生からみんなに言って欲しい事があると相談されてねぇ？だからみんなよく聞いてね。」

「山野羊君を食べては行けません。・・・でも・・・」

「「「山野羊ってすんごい美味しそう。」」」

ついに視線ではなくみんな（クラスの男子全員と女子全員と・・・・先生・・）が声に出して僕に告げた・・・（ガクリ）

第一話　視線の意味（後書き）

どうもここまで読んでくれてありがとうございます！これからもよろしくお願いします！

いろいろ危険な僕（前書き）

どうも、初めてなんでいろいろ駄目なとこがあるんで感想とか送ってくれると嬉しいです。

いろいろ危険な僕

どうも！マジカルンルンプリンセス先生♪で～す！みんな元気にしてたか

「いや、マジカルンルンじゃなくて・・・先生、キャラ変わってますし・・いやそれより話を元の本題に戻しまそうよ」

あ！いけない！私クール系の美女なのに！

テヘ♪

で何かなちっこくてぬいぐるみみたいで可愛い生徒Ａの君♪

「うるさ～～い！僕の容姿の話は禁句！それに生徒Ａじゃな―い！

というかまとめて言わせて貰いますけど！・・・・・・・・・・・・

「初第一話♪なのに先生ばっか話して僕全然喋ってない！！

主人公なのに！先生ばっか目立って僕がどんどん陰薄く
「黙りなさい。羊君。今授業中なのですよ。あまり可愛い声・・・じゃなくて大きな声を出すんだありません。」
いきなり元のクール系先生に戻って怒るなんて・・・・理不尽だよ・・・・・・
「まあ、いいでしょう。それより話を本題にもどすんでしたね？
では前回の続きを・・・」
ここでクラス全員がなぜか頷いて僕によってきた。
「あの先生、なんかみんなご馳走を見る目で僕によって来ているんですが・・・って先生もですか！」
「ふふふ、何って？前回最後に言ったセリフ、もう忘れてしまったの？」
妖しく笑いながらじわじわ迫ってくる先生とクラスメイトを見ながら僕はようやく前回の事を思い出した。
「「「山野羊ってすんごい美味しそう。」」」

そうだ、僕前回みんなにそう言われて・・あれ？じゃ僕このままで行くと・・・・・食われる？・・・・・・・・・・・・・

「「「いっただきま～～す！」」」

いやぁぁぁ！！！誰か助けてぇぇ！！！食われる！僕食われる！

もうすでに目の前辺りまでクラスメイト達（と先生。しかもなぜか先頭に・・・）が迫って来てる。もうバ〇オのゾンビの集団にしか見えない。僕はもう目を瞑る事しかできない。誰か・・た、助けて・・・・

「ぷ。ぷはははは！！！あ～お腹痛い！！！！冗談なのに！まにうけちゃって！もう羊君可愛い！！！！」

ははは、と先生に続いてクラスメイト達も笑い初めた。僕は呆然となった。もう何恐怖と混乱で何が何だかさっぱりである。先生に聞いて・・・駄目だ先生笑い転げてる。話を聞ける状態じゃない。仕方ないので委員長に説明をお願いした。委員長は長いおさげと分厚いメガネをかけた人でこれ以上に委員長にふさわしい人物は恐らく以内であろう（独断）と言う容姿の人である。この人なら真面目に答えてくれるだろう。性格もおどおどするけど真面目だし。

「え、え、わ、私！　あ、えーとねえ、ひ、羊君。こほん。幾ら私達が肉食タイプの獣人だからって本能のまま行動するわけじゃないの。私達は獣じゃなくて獣人だから理性があるから別に意識すれば本能なんてなんとかなるの」

「え！じゃ今までのは？」

委員長は申し訳なさそうに

「全部先生の悪ふざけ」

な、なんですと？　凄いショック・・・・・あ！でもこれで平和な学校生活を送れる！？

やったー！！！　でも一つ気になる。

「あのさ―委員長」

「な、何ですか」

「さっき意識すればなんとかなる言ってたけど意識しないとどうなるの？」

「そ、それは・・・・・・・・・・」

「ジュルリ」

え！ちょ、委員長！その涎は！？

「ふふ。ここからは私が説明してあげる。」

あ、先生復活した。

「確かに私達は獣人だから人を食べろうとは思わないわ。だけどね？どうやら羊君可愛いから私達女の子は違う方の食欲が刺激されちゃったの。」

「あの、違う方ってなんでしょうか」

「うふふ。それは○¥＃＆＊@§☆＃％（えー全年齢対象指定作品

で言ってはいけない１８指定のセリフを堂々と言ってます。ｂｙ作者）まあ―簡単に言えばエッチな意味で食べちゃおうと」

うそ～～～～～！？　お願いしますからそれだけはやめて！？こっちはそういう事ができない事情があるんだから！！は！ま、まさか・・・・・・・・・・男子も！！！！！　いやぁ～～～～～～～そんなのいや～～～～！！！ホモいや～～～～～！！！

ぽん、とここでいきなり肩を叩かれた。・・・男に・・・・・・

「はぁ。なんかすんごい誤解していそうだから言っとくが、いくらなんでも俺達男子全員がホモになるわけないだろう」

よ、よかった。・・・

「俺達の場合、女子のみんなからエッチなことをされるお前が憎いから、憎いから！理性も人としての尊厳も全て捨てて、ただの獣となってお前の喉を噛み砕きたいだけさ♪」

良くない！？　そっちもいやだよ！？ていうか先生と女子は悪ふざけでやってた事を男子だけマジでやってたの！？こ、このままじゃヤバイ。委員長を初めとした一部の女子は理性で耐えてるけど、他はもう食欲に身を任せてる。特に先生は全開にしてる。

「ふふふ。ジュルリ」

「ガルル。ガウ」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・えー、
なんでこんな事に？こんな風になった経緯を後でじっくり考えよう。
とりあえず今はこの状況をどうしよう。冷静に考えて残された道は
２つ。僕がみんなに隠してる秘密の力を使うか・・・・・・いや、
駄目だ。ばれてしまったら僕は・・・・・・・・という訳で残され
た道は１つ。

「に、逃げろ〜〜〜〜〜！！！」

「待てぇ〜〜〜〜！！！」

いろいろ危険な僕（後書き）

どうも、ここまで読んでいただきありがとうございます！
今だに獣人の能力や主人公の秘密、ヒロインが出てきませんが（一応委員長はヒロイン候補です。先生は・・・どうだろう？）そのうち出て来るので待ってくれると嬉しいです。ちなみに主人公の秘密はＳＦ的なものでは無く、ファンタジーなものです。感想待ってます。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n8722c/

羊な僕～周りは肉食動物!?

2010年12月31日21時20分発行